

会計報告

昭和63年4月～平成元年3月末までの会計収支決算は、下記の通りとなりましたので、皆様に御報告いたします。

収 入	金 額	支 出	金 額
繰越金	5,200,954	卒業記念品	36,000
同窓会費(保19・生5期)	820,000	卒業名簿印刷	80,000
同窓会費(過年度卒)	160,000	送料・振込料	800
利息	61,013	会報(印刷・郵便料)	333,545
バザー売り上げ金	30,950	バザー経費	4,303
		その他(領収証など)	1,530
(イ) 計	6,272,917	(ロ) 計	456,178
収支差引次期繰越金		¥ 5,816,739 (イ-ロ)	

(円)

昭和六十三年四月～平成元年三月までの同窓会費収支決算は上記のとおりになりましたのでご承認下さい。尚、ご不明な点がありましたら、会計の方へご連絡下さい。皆さんに呼びかけてきました、同窓会終身会費未納分の納入の件ですが、暖かいご理解により徐々にではありますが納められてきています。今後より一層のご協力をお願いいたします。

今年度は服装学科一期生から十期まで未納額をお知らせいたしましたので、郵便振替にて納入をお願いいたします。振替用紙には封筒の表面下に記載されていますが、番号を必ず記入願います。



開学二十周年を祝う

昭和四十四年に開学したこの室蘭短大も早いもので二十周年を迎え、昨年の七月八日、蓬峯殿において記念式と祝賀パーティが行なわれました。

大沼学長を始め、開学当初より御尽力下さった市や近隣の短大、高校、幼稚園、保育所、施設、一般企業より係わりの深い方々をお招きし当教職員と共に祝いの時を持ちました。

意義ある同窓会活動を

会長 下 沢 和 枝

昨年は、文短開校20周年の行事が盛大に行なわれました。室蘭に開学してから、20年余りの間に2340名近くの同窓生が巣立っていきましました。しかし、悲しいかな、同窓会の活動に参加して頂いている方は本当に少ないのが現状です。同窓会活動は、女性である事で、仲間むずかしい面も多いのですが、

同窓会バザー 袋物が大好評

昭和六十三年バザーは一昨年の十一月三日に行なわれました。子供服・小物類・袋物など質の良い作品が集まり、例年より売り上げが幾分か多くなりました。

当日は教養学科一年の父母懇談会が行なわれ、それに出席されたお母さん方も買って下さり、実用的でモダンな品物はすぐに売れてしまいました。



題字 北浦 晃氏

開学20周年

第6号
発行
平成2年3月15日
発行所
文化女子大学室蘭
短期大学同窓会
室蘭市高砂町3丁目11-50
印刷所
富士印刷株式会社

全員編入合格で卒業式

平成二年三月十日、文化女子大学室蘭短大は、第二十卒業式を挙行します。二年前に入學した学生、つまり昭和六十三年入學生が卒業するわけですがこの年度は東京の文化女子大学家政学部三年編入制度を導入した最初の年度で、東京はじめ本州各地、沖縄からも道外勢が九十八名も大量入學した年です。

月日の経つのは早いもので、もう卒業です。遠くから北海道の室蘭にやってきて、不安や淋しさを経験したことと思います。が、いまはたくましく、また豊かに成長して卒業証書を手にする事になったわけで、心から卒業おめでとうとお祝いを申し上げます。

ところで二年前のことを思い出すと、本当にテンヤワヤの大騒ぎでした。予想以上の新入生が押し寄せたため、入學式を急ぎ変更したり、寮の修理工事を早めたり、学生の宿探しに広告を出したり、事務所は猫の手を借りたくらいの大忙しさでした。

道外から入學した卒業生たちは室蘭評は、親切な人が多く、温い土地柄である、というのが圧倒的に多く、二年間室蘭で生活してとても良かった、そうでした。



(主事・菊地敬夫)

これは小論文のなかでの感想で、東京の編入試験の試験官は「北海道の雄大な自然に囲まれ、人間のやさしさ、おらかなさなどに接して感激していた」といっていました。

最初の試みではありましたがなんとか無事に終わり、教職員一同もホッと胸をなで下しているといった状況です。

さて、今後の室蘭短大はどんな展開をみせていくのでしょうか。まず学生数ですが、保育も教養科も定員いっぱいプラスαでいけるメドが立ち、これからは教育内容の充実を注いで、魅力ある女子短大に育てていくことが必要です。同窓会の皆さん方も、母校の発展のために、どうかご理解とご協力のほどお願い申し上げます。

水芭蕉

平成元年度	二〇、五〇〇	一九、五〇〇
昭和63年度	二〇、九五〇	二六、六〇〇
売り上げ金		
利益金		

平成元年度、五回目を迎えたバザーは昨年十一月三日に行なわれ前回好評だった袋物を中心に販売しました。今回は、寄付の布で作っていたため、売り上げの殆どが利益金になりました。明細は下記の通りです。

毎年、準備が大変なバザーですがお忙しい中、毎回、作品を作って下さる卒業生の皆様や作品を沢山買って下さった方々に感謝し、お礼申し上げます。

このバザーも定着し、無理なく継続出来る様、願っています。

文大祭期間中に学内ロビーで手作り品を販売している、お姉さんのお店、に是非、一度いらして下さい。

最近ビデオで「キャリアガール」を観た。アメリカ流のサクセスストーリーではあるが、いつい引き込まれてしまった。学歴も経験もコネもない。あるのは若さとヤル気だけ。その彼女のアイデアを上司の女性が盗用。悪戦苦闘。そして新しい地位と新しい恋人を得ると、こんな訳で、女性の敵は女性であったのかと……。

一回で覚えられなかったが「セクシャルハラスメント」。男性側にしてみると、「それ位、そんな事で」と寝耳に水・晴天のへきれきといった所であろうか。

女性であるといった由に受けたいやがらせや差別は、意識外の所でも沢山ある。出席簿は男子からとか、結婚後の挨拶状の妻の名は小さくとか、数えあげたらきりがなし。「女のくせに、女だから」、先ず私達、同性から変わらないう。自分の子供に、教えるに、同僚に。

ああ、それなのに私、五年生の娘に「女のくせになんですか、その言葉遣いは」、どうか馬の耳に念仏なんて云わないで下さい。

20周年記念特集 電話インタビュー

今年、室蘭短大は20周年を迎えました。在学している学生は20期と21期生、平成元年3月卒業した19期生までで、卒業生の総数は、2340名(保育科・1607名、服装学科が14期までで563名、その後の生活教養科が170名)となっています。

今回、20周年を記念して卒業生に電話インタビューを試みました。

お聞きしたことは次の二つです。

①卒業後、現在まで何をしていますか？

②学生時代の思い出として、印象に残っていることは？

突然の電話に、みなさん元気に応えてくださったことが印象的でした。なお、以下の文はお話した内容をまとめさせていただいたもので、文責は編集者にあります。

井上(旧姓陽子)陽子さん



玉光堂というレコード屋さんの

- 函館中部高校出身
- 1期服装学科卒
- 室蘭市高砂町在住

①S46年卒業後 兄もおりましたので札幌に出て玉光堂というレコード屋さんの店員を一年だけしまして、結婚のため室蘭に帰ってきました。主人は高砂町の五輪堂書店の主人でもあります。工大の前ですが、文短にも近くて、附属幼稚園を出た、いま小4の娘はエンジェル・ハンドベル・リンガーズに入っていて短大との縁はずっとつづいていきます。

長沢睦美さん



- 長沼高校出身
- 10期保育科卒
- 空知郡栗沢町在住

①S55年の卒業以来ずっと北海道立福祉村の指導員をしています。重度の障害者の更生・授産・療養施設ですが、それなりに大変ではあります。が、楽しくやっています。車イスの人達って海外旅行くらい行くというところで、去年は香港、今年にはハワイに行きました。年にも一度ハワイに行くことになっています。

多かったです。そんな活動が、いまの仕事につながっています。

佐藤由美子さん



- 新潟県村上女子高校出身
- 11期服装学科卒
- 新潟県岩船郡荒川町在住

①家が「テーラー佐藤」という洋服仕立業なので、後を継いでいます。

S56年卒業後、山形県鶴岡市の「メンズプラザミナガワ」に就職。一年間見習い修業してから家業に戻ると共に、結婚しました。翌年生れた長女が小1、次女が生後8ヶ月です。両親も元気で、みんなで洋服屋さんをしています。

吉田桂子さん



- 足寄高校出身
- 18期保育科卒
- 紋別市在住

①S63年卒業して、定家先生のご紹介で紋別市の紋別幼稚園に務め、まだ1年と少しの新米ですが元気ががんばっています。知人のまったく新しい土地でしたが、主任の坂下先生が室蘭短大の先輩で、10期生の旧姓柴田悦子さん、励まされたり、大変お世話になっていて、年令たて割りの一クラスの担任として楽しく働いています。

旅

保育科1期生

村上 美津穂

「今度の旅行では、何が一番楽しかった？」旅のしめくりに子どもにたずねる。 「連絡船の甲板にすごい風が吹いて、走っても走っても進まなかったこと」 「川つぶちに変な顔のブルドックが寝ていて、その横にウンチがあつたこと」

旅行の楽しみの半分は、たっぷり時間をかけた計画にあり、暇なし地図やら時刻表を広げている私であるが、船の上で吹く風や、川辺の犬のウンチのことまでは思い及ばない。

旅行の楽しみのもう半分は、そんなどうでもいいような事で予定表の片隅にも書かれていない、ちょっとした胸おどる(?) 出来事にあると思う。史蹟を訪ねたり、すばらしい景色をながめたり、というのも、それはそれで心に沁み入るものであるが、

短大にあるサークル「ハンドベルクワイヤ」が使用し演奏しているハンドベルを、附属幼稚園が取り入れてから五年になります。入り込んだ年5月からはハンドベルに触れ、持ち方、振り方を覚えていこうと、大ききよによって音の違うベルを振り、その音色を楽しんだり、クラスの仲間達と一緒に知っている曲を演奏し楽しんでいきます。

ハンドベルで世界へ翔たく

短大にあるサークル「ハンドベルクワイヤ」が使用し演奏しているハンドベルを、附属幼稚園が取り入れてから五年になります。入り込んだ年5月からはハンドベルに触れ、持ち方、振り方を覚えていこうと、大ききよによって音の違うベルを振り、その音色を楽しんだり、クラスの仲間達と一緒に知っている曲を演奏し楽しんでいきます。

短大にあるサークル「ハンドベルクワイヤ」が使用し演奏しているハンドベルを、附属幼稚園が取り入れてから五年になります。入り込んだ年5月からはハンドベルに触れ、持ち方、振り方を覚えていこうと、大ききよによって音の違うベルを振り、その音色を楽しんだり、クラスの仲間達と一緒に知っている曲を演奏し楽しんでいきます。



この所は数少ないので、卒業後、ハンドベルに触れる機会がなくなってしまっています。卒業してもハンドベルを振り、色々な曲を演奏したい。」という声があり、四年前に卒園生グループ(エンジェル・ハンドベルリンガーズ)が結成されました。小学校へ通っている子供達が、週に一度、幼稚園に来てハンドベルを演奏し楽しんでい

行く。旅行の計画を立てる時、今度はどうなるか胸躍らせるためにその計画は、呆れる程綿密に練りあげていく。来年、富士登山を予定しているの、我が家の一室には、いつものガイドマップや時刻表の他に、フェリーガイド、山の絵本、登山入門書、ついでに伊豆や鎌倉やら、足を延ばせる所のポケットガイド。それにノットが散乱している。ノートには、コース、利用する乗物、費用別にA案、B案、C案とまとめられて、それぞれ個性の顔で採用を迫っている。

旅行は、おもしろい。予定を急に変更して、ワクワクして汽車に乗りこむと地元の人、「あんなどこ、なんにもないよ」と笑う。なんにもないかどうか、確かめる楽しみが増える。秋田の寒風山には、本当に何もなかったが、頂上立って八朗瀉を見おろすと、私が絵本の「三ッコ」

なる楽譜には、担当の音にカラフルな色の印がびっしりとつけられている。ハンドベルが大好きという子供達、真剣な表情で楽譜を見つめ一生懸命にハンドベルを振り楽しんでる様子には、心打たれるものがある。ハンドベルに触れるのが楽しみです。ハンドベルに触れるのが楽しみです。ハンドベルに触れるのが楽しみです。



歴史の香りたつたよ みるのくの小京都

今年秋に間に合わず、こんな時期になってしまった事を、お許し下さい。何かと忙しい中での編集会議も印刷屋さんにおんぶに集いまして、今年も送れます事をお祈りいたします。身近な話題や感想などお寄せ下さいれば幸いです。

編集後記

今年秋に間に合わず、こんな時期になってしまった事を、お許し下さい。何かと忙しい中での編集会議も印刷屋さんにおんぶに集いまして、今年も送れます事をお祈りいたします。身近な話題や感想などお寄せ下さいれば幸いです。

石田(旧姓約巻)和子さん



- 室蘭清水ヶ丘高校出身
- 2期保育科卒
- 茨城県日立市在住

①S47年卒業、室蘭市白鳥台のピノキオ幼稚園に4年間勤務、S51年短大に附

②2年間学生寮でしたので、自炊の共同生活の思い出があります。それと2年の卒業発表の前、ショートの歩き方の指導を音楽の小野先生にいただいたことなど思い出します。

③S47年卒業、室蘭市白鳥台のピノキオ幼稚園に4年間勤務、S51年短大に附

④ボランティア活動として、ホームヘルパーをしていました。工大生も少しいて、短大の仲間が